令和　3　年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)　　自己評価

事務事業番号	15

担当課	健康課	担当課長	大嶋　昌広
事業担当者	石橋　愛	一次評価者	持松　可奈子
事業区分	継続事業	事務事業評価の履歴	有
事務事業名	子育て世代包括支援事業		
予算科目	4　款　1　項　5　目		
予算事業名	母子衛生費		
総合計画での位置づけ（施策名）	安心な子育て環境をつくる		
事業の性格	法定事務		
法令根拠等	母子保健法		
事業の対象	妊娠期～子育て期の親子		
事業の目的	妊娠・出産・子育ての切れ目ない親子の支援を行い、安心して子育てができる環境を整えることで育児不安の軽減や虐待の予防に寄与する。		
実施期間 開始年度	平成　29　年度から		
実施期間 終了年度	令和　年度まで		
事業の内容	母子保健事業を通して、妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援を行っている。また、健康上や養育環境において継続した支援が必要なケースは、福祉課や他の関係機関と連携して支援を行っている。		

目的達成の指標（成果指標）

母子保健事業の満足度

区分 年度	単位	2　年度	3　年度	4　年度	5年度
目標	人	90	90	90	90
実績	人	90.8	90.2		

指標設定の考え方	安心して子育てができる環境を整え、育児不安を軽減するためには、事業の満足度を高める必要があると考えたため。
計画時の懸案事項	人工増に伴うニーズの多様化に対応できるような事業展開が必要である。新型コロナウイルス感染症の影響により事業参加を控える対象者が増加することが懸念される。健診未受診者や要支援者の状況把握に注力する必要がある。
計画時の懸案事項への対応	引き続きLINEや動画を用いて情報発信を行った。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、案内時間や実施ブースの振り分けを行い、安全に実施できるよう配慮した。健診受診を控えている家庭や要支援者には、来所や訪問で現状把握を実施した。また、定期的な状況把握の連絡を行って保護者が抱える不安の軽減に努めた。

PLAN（計画）

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額　2,676 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。（千円）

項目		2 年度予算	3 年度予算	4 年度予算	5 年度予算
事務量	① 人工数	1.62	1.39	1.39	1.39
	② 人件費単価	7,652	7,179	7,898	7,898
	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費（①×②－③）	12,396	9,978	10,978	10,978
事業費	直接事業費	24723	19424	23800	23800
	人件費	12,396	9,978	10,978	10,978
	合計	37,119	29,402	34,778	34,778
財源内訳	国庫支出金	7550	3453	3788	3788
	県支出金	244	1210	1205	1205
	地方債	0	0	0	0
	その他	49	49	150	150
	一般財源	29,276	24,690	29,635	29,635
	合計	37,119	29,402	34,778	34,778

事業費計画

（千円）

区分／年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
目標	24,723	19,424	23,800	23,800	23,800
実績	21,833	17,403			

事業活動の実績（活動指標）

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
母子保健事業の年間実施件数	件	159	159	159	159
		203	251		

DO（実施）

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額　2,547 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。（千円）

項目		2 年度決算	3 年度予算	3 年度決算	4 年度予算
事務量	① 人工数	1.62	1.39	1.39	1.39
	② 人件費単価	7,652	7,179	7,022	7,898
	③ 補助事業人件費	0	0		
	人件費（①×②－③）	12,396	9,978	9,760	10,978
事業費	直接事業費	21833	19424	17403	23800
	人件費	12,396	9,978	9,760	10,978
	合計	34,229	29,402	27,163	34,778
財源内訳	国庫支出金	6641	3453	2757	3788
	県支出金	56	1210	968	1205
	地方債	0	0	0	0
	その他	83	49	401	150
	一般財源	27,449	24,690	23,037	29,635
	合計	34,229	29,402	27,163	34,778

実施備忘録

CHECK（評価）

No.3

自己評価

評価者	石橋　愛

5段階評価で評点を付けます。
5　大 ←→ 小　1　↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
□ 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	5	A
□ 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
□ 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	5	
□ 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5	
2. 町が実施する必要があるか？		
☑ 町が実施主体となることが法令等により定められている。 **※該当する場合は左の□にチェックしてください。**		
□ 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	5	A
□ 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	5	
□ 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	5	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
□ 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	A
□ 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
□ 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		
□ 事業費に見合った成果を上げている。	4	B
□ 外部委託等（指定管理者を含む）による効率化が図られている。	4	
□ 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		
□ 受益者負担について課題はない。（または、受益者負担を求めることが適当でない。）	4	B
□ 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
□ ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	4	

今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□ A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）	
☑ B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）	
□ C見直し	
□ D廃止	
□ E完了	

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
□ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

4. 自己評価の理由（必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から）

本事業は平成29年4月から母子保健法に位置付けられ、市町村での実施が努力義務化された。
人工増に伴い、子育てに関する多様なニーズが高まっており、必要性が高いと言える。
また、虐待予防の観点から子どもの心身の健康状態や家庭環境を把握することが求められており、有効性が高いと言える。

5. 成果実績の評価（今後の方向性等について具体的に）と課題認識

子育て世代が増える一方で、新型コロナウイルス感染症の影響により子育て世代同士が関わる機会が減少している。孤立を防ぐため、感染症対策を講じた上で子育て世代同士が交流できる場や相談するきっかけづくりを行うことが求められる。

CHECK（評価）

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

一次評価

評価者	持松　可奈子

5段階評価で評点を付けます。
5　大 ←→ 小　1　↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
□ 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	5	A
□ 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
□ 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	5	
□ 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5	
2. 町が実施する必要があるか？		
☑ 町が実施主体となることが法令等により定められている。　※該当する場合は左の□にチェックしてください。		
□ 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	5	A
□ 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	5	
□ 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	5	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
□ 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	A
□ 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
□ 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		
□ 事業費に見合った成果を上げている。	4	B
□ 外部委託等（指定管理者を含む）による効率化が図られている。	4	
□ 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		
□ 受益者負担について課題はない。（または、受益者負担を求めることが適当でない。）	4	B
□ 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
□ ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	4	

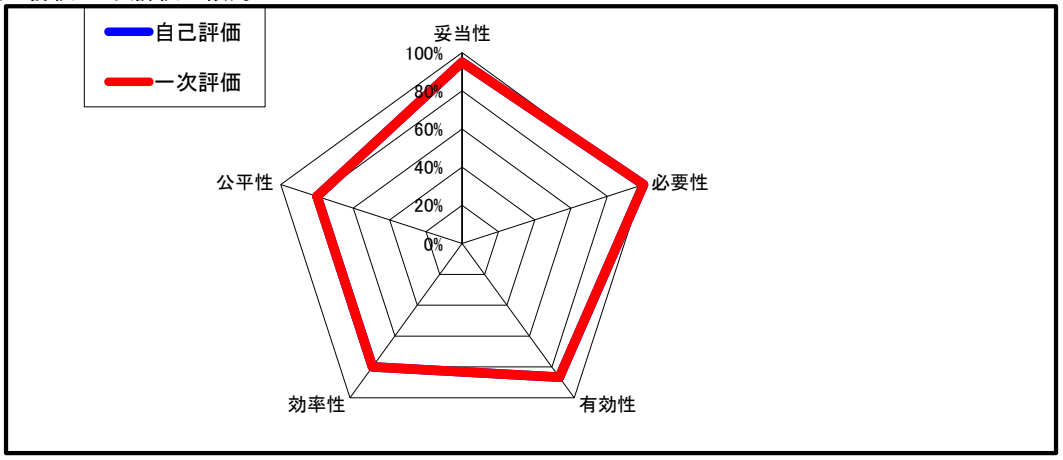
今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□ A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）	
☑ B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）	
□ C見直し	
□ D廃止	
□ E完了	

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
□ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

一次評価の理由（今後の方向性等について具体的に）

本事業は子どもたちの健やかな発達、発育の支援および保護者への育児支援を行ううえで重要な事業である。
切れ目のない支援を行うにあたり、引き続き様々な専門職が連携をとり、体制を整える必要がある。
令和4年度から福祉課に子ども家庭総合支援拠点が設置され、子どもおよび妊産婦を対象にした相談支援業務が開始となる。
本事業と深く関連することから、福祉課をはじめ関係機関との連携体制を整える必要がある。。

自己評価・一次評価の傾向



ACTION（評価・改善）

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.5

二次評価

評価者	大嶋　昌広

□　A以下の点について良好と評価し、コストを拡充し更なる事業推進を図る。

☑　B計画どおり、現状のまま事業を継続する。

本事業は子どもたちの健やかな発達、発育の支援および保護者への育児支援を行ううえで重要な事業であり、切れ目のない支援を行うにあたり、引き続き様々な専門職が連携をとり、体制を整える必要がある。

□　C事業継続と判断するが、以下の課題を解決するため計画の見直しを行う。

□　D事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会で評価する。

月　　日
開催予定

□　E事業の目的を達成し、事業完了したと判断する。

□　一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり直し、
月　　日
までに提出すること。

□　評価終了
□　外部評価へ

ACTION（評価・改善）

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.6

外部評価

今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□	A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）
□	B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）
□	C見直し
□	D廃止
□	E完了

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
□ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

評価		外部評価委員の意見

経営者会議

経営者評価	町長

今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□	A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）
□	B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）
□	C見直し
□	D廃止
□	E完了

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
□ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

評価		経営者会議の結果

令和　5　年度予算要求事項（今後の取り組み）